



G26000JP バッテリーチャージャーを活用する

バッテリー上がりに使用

メンテナンスフリーや密閉式などあらゆるバッテリーに充電可能ですのでバッテリーを選びません！12V/24Vに充電可能です。



補充電に使用

車載のまま充電出来ますので、アライメントを計測する際やキーON状態で故障診断機を使用する場合に補充電として使用出来ます！



展示車のバッテリー上がり防止に

ショールーム等の展示車につなぐ事でナビやオーディオ、パワースライドドア等をバッテリーを上げる事なく、お見せする事が可能！充電後自動でストップしますので安心してご使用になれます。



バッテリー交換時のバックアップに

バッテリー交換時のバックアップ電源として使用！バックアップを取る事で面倒なセンサーの学習が必要ありません！

※24Vの場合は12Vずつ（1個ずつ）交換して頂く事でバックアップを取る事が可能です。



本体内容

- G26000 充電器本体
- HD バッテリークランプコネクタ
- HD アイレットターミナルコネクタ
- 取扱説明書



本体仕様

型式	G26000JP (電気用品安全法適合仕様)		
動作電圧	AC100V, 50-60Hz	効率	約85%
出力	最大500W	保護等級	IP44
寸法 L×W×H	約30cm×14cm×7.6cm	重量	約2kg
充電電圧	14.4/28.8V, 14.7/29.4V (Cold/AGM), 13.6V (バッテリー交換時バックアップ), 13.6V (メンテナンス) 16.5V (カルシウム), 14.4V (サイレント), 16.5V/33V (回復モード)		
充電電流	26A (12V), 13A (24V), 5A (バッテリー交換時バックアップ), 5A (メンテナンス), 5A (カルシウム), 5A (サイレント), 1.5A (回復モード)		
対応バッテリー	12V および24V 鉛蓄電池, Wet (液式), Gel (ゲル) MF (メンテナンスフリー), およびAGM (吸気性ガラスマット)		

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。



BANZAI 株式会社 バンザイ

本社 〒105-8580 東京都港区芝2-31-19 ☎03(3769)6880
 札幌支店 〒063-0801 札幌市西区24軒1条7-3-10 ☎011(621)4171
 仙台支店 〒983-0005 仙台市宮城野区権堂2-8-21 ☎022(258)0221
 関東支店 〒364-0011 埼玉県北本市西4-6-53 ☎048(590)3700
 東京支店 〒106-0023 東京都港区赤坂4-10-12 ☎03(3769)6840
 名古屋支店 〒464-0852 名古屋市千種区青柳町6-26 ☎052(732)2600
 大阪支店 〒577-0012 東大阪市東山3-3-11 ☎06(6744)1041
 広島支店 〒733-0035 広島市南区南郷数2-7-10 ☎082(233)3201
 福岡支店 〒812-0893 福岡市博多区那珂5-3-15 ☎092(411)1261
 海外販売部 〒108-0023 東京都港区赤坂4-10-12 ☎03(3769)6894

※ 改良のため予告なく型番および仕様を変更することがあります。
 ※ 本カタログの商品写真は印刷のため、実際の商品の色と異なる場合があります。

http://www.banzai.co.jp
 E-mail: eigyo@banzai.co.jp

●販売店

●営業所
 旭川・青森・秋田・盛岡・郡山・山形
 新潟・長野・前橋・宇都宮・水戸・埼玉
 千葉・横浜・静岡・多摩・北陸・三重
 京都・神戸・高松
 ●販売所
 徳島・富山・松山・岡山
 山口・長崎・大分・熊本

NOCO genius[®] wicked smart chargers™

12V & 24V
26A (26000mA)
 バッテリーチャージャー
G26000JP



様々なシーンで使用出来る
 多機能・軽量・コンパクトな
 バッテリーチャージャー



BANZAI[®]



乗用車～トラックまで様々なバッテリーに1台で対応



12V&24Vに対応

コンパクトカーやミニバンなどの12V車
トラックやバスなどの24V車に対応！



接続が簡単

車載のまま補水キャップを外さずに充電可能！
(カルシウムバッテリーモード/回復モードを除く)



アイドリングストップ車やHV車/EV車の補機バッテリーに対応

アイドリングストップ車や充電制御車、
HV/EV車の補機バッテリーに充電可能

アイドリングストップ車の充電モードで
ある「カルシウムバッテリー」モード搭載！



様々なタイプの12V/24Vバッテリーに対応

補水キャップのないメンテナンスフリータイプや密閉式タイプ、
充電制御車/アイドリングストップ車専用バッテリーなど多種多様の12V/24Vバッテリーに対応！



※バッテリーはイメージです

各機能説明

12V/24V NORMALモード

従来の補水キャップ付きから
キャップがついていないバッテリーなど
多彩なバッテリーに対応したモード



12V/24V COLD/AGMモード

外気温度が0度以下の場合やAGM
バッテリーに充電する際に使用します。



バッテリー交換 バックアップモード

バッテリー交換時のバックアップ電源
や電圧が極端に低い場合に強制的に
充電する際に使用します。
(12V専用モード)



メンテナンスモード

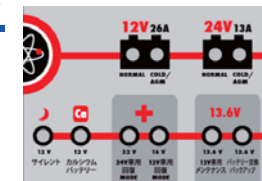
バッテリーの各セルを均等に充電し、
バッテリーコンディションを整えるモード
(12V専用モード)



様々な状況で活用出来るバッテリーチャージャー

10種類の充電モードを搭載

12V/24V合わせて10モードを搭載
充電やバッテリー交換時のバックアップ、バッテリー上がりを防ぐ
補充充電まで様々なシーンでお使いいただけます！



12V車の充電時 (乗用車など)

※始動に必要な約12.8V付近まで
充電し、その後は維持充電を
行います。12.8V以上ある場合は
維持充電に入ります。

①車両に接続する



②12V/NORMALモードを選択



24Vの充電時 (トラック・バスなど)

※始動に必要な約25.6V付近まで
充電し、その後は維持充電を
行います。25.6V以上ある場合は
維持充電に入ります。

①車両に接続する



②24V/NORMALモードを選択



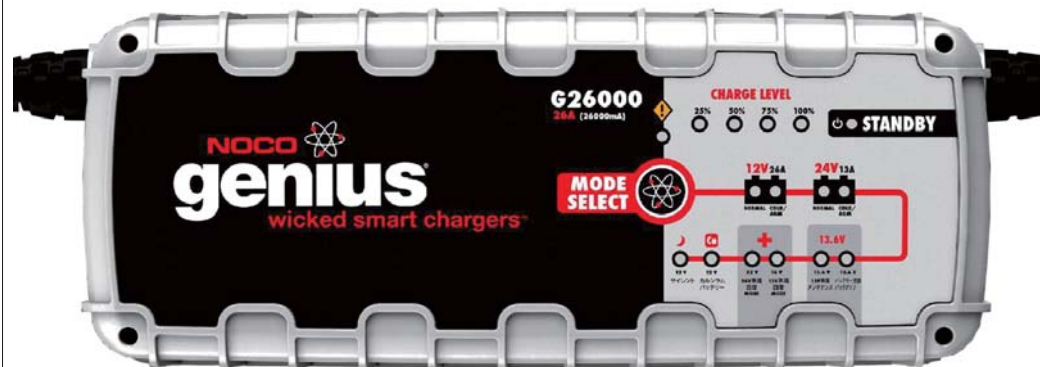
アイドリングストップ車 への充電時

※カルシウムモードをご使用の場合
16.5V程度まで電圧を上げます
ので電装品を保護する為に
バッテリー端子を外して充電
します

①端子を外してバッテリーに接続



②カルシウムモードを選択





G26000 J P バッテリーチャージャーで実験

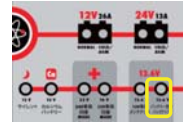


バッテリー交換時のバックアップ

①端子を緩めます



②バッテリー交換時バックアップモードを選択
(モードに入れる前に+端子のみを接続)



③バッテリーチャージャーを接続



④バッテリーから端子を外す



⑤バッテリー交換後に端子を締め付ける



バックアップの重要性

今の自動車ではバックアップなしでバッテリー端子を外すと、パワーウィンドウやスライドドアに不具合が出る可能性や故障コードが入りセンサーの学習等の作業が必要になります。交換時はバックアップを取りましょう。

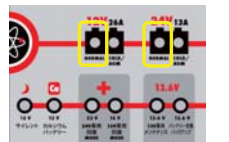


補充電として使用する場合

①車両に接続する



②12Vまたは24V NORMALモードを選択



補充電の重要性

アライメント測定時や故障診断機使用時などではバッテリーを上げる危険性があります。G26000をつなぐ事で補充電を行いバッテリー上がりを抑えます。



カルシウムバッテリーモード



カルシウムバッテリー専用で作られたモードです。アイドリングストップ車などカルシウムバッテリー採用車に使用。

12V/24V 回復モード



高い電圧にてバッテリーの極板に付着したサルフェーションを溶かし、容量を回復させます。
(物理的な劣化を回復するモードではありません。また回復モードを使用する場合はバッテリーを取り外す必要があります)

サイレントモード



本体内部の冷却ファンを止めて充電します。夜間など静かに充電を行う際に使用します。

バッテリー温度センサー装備



各機能説明

実験車両情報

国産乗用車のセダクラス。バッテリーが上がリ、エンジン始動不能状態。搭載バッテリーは乗用車では一般的な「40B19」、セルは回らず、ヘッドライトもメーターパネルも真っすらと光る程度のバッテリー上がり。



セルも回らない・・・



ヘッドライトも暗い・・・



ワイパーも上がらない・・・



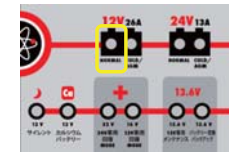
ケース① G26000を使用してエンジン始動まで

※バッテリーが上がった状態からスタート

①車両に接続する



②12V/NORMALモードを選択



③5分程度充電する



④エンジン始動可能に



充電から約5分で始動可能に!

※7V以下の場合はバッテリー交換バックアップモードにて7V以上充電してからNORMALモードにします。
※バッテリー上がりの場合はキーON状態にしてから充電モードを選びます。
※バッテリーサイズや車両、上がり方の状況により始動時間は異なります。

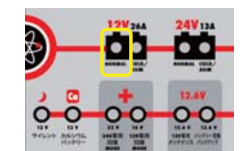
ケース② G26000を使用して補充電を行う

※エンジン始動ができる状態からスタート

①車両に接続する



②12V/NORMALモードを選択



③ヘッドライトとワイパーを動作させて放置する



④補充電をしている為、1時間後でも問題なし



1時間後でもヘッドライトもワイパーも快調に動いている!

※バッテリーサイズや車両、消費電力により異なります。ある程度充電されている状態で補充電を行ってください。